

イデックスオイルレポート ~For a month~

2022年4月1日作成 株式会社新出光

【月次概況】

●第1週、週末3/4のWTI原油は、先週比24.09ドル高の115.68ドルとなりました。日米欧の先進7か国(G7)は、28日世界の銀行決済取引網「国際銀行間通信協会(SWIFT)」から排除するロシアの銀行の正式決定に向けて調整を継続しています。バイデン米政権は同日、ロシアに対して同中銀が米連邦準備制度理事会(FRB)に保有するドル資産を事実上凍結する措置を発動しました。国際金融市場からの締め出しで世界の原油供給の約10%を占めるロシア産原油の供給に混乱が生じるとの懸念が台頭し相場は上昇しました。

●第2週、週末3/11のWTI原油は、先週比6.35ドル安の109.33ドルとなりました。10日、ロシアのプーチン大統領は、米国によるロシア産原油の禁輸措置に対し、ロシアはエネルギー供給契約の義務を着実に履行していると述べました。これを受けてロシアは、今のところは欧米の制裁の報復措置としてのエネルギー供給停止は考えていないと受け止められ需給逼迫への過度の警戒感が和らぎ売りに繋がりました。またロシアのプーチン大統領が、ベラルーシのルカチェンコ大統領とモスクワで会談しウクライナ停戦交渉に関していくつかの前向きな進展があったと発言しました。これを受けて停戦期待が浮上し、原油供給不足への過度の警戒感が後退し一時104ドル台まで売られました。

●第3週、週末3/18のWTI原油は、先週比4.63ドル安の104.70ドルとなりました。15日、ロシアとウクライナの停戦交渉や中国での新型コロナウイルス感染拡大に市場の関心が向かう中、原油は、売られ96.44ドルへ下落しました。国際エネルギー機関(IEA)は、ロシアの産油量は、4月以降日量300万バレル減少する可能性があるとして供給不足を補う余剰生産力を持つ産油国は、サウジアラビアとアラブ首長国連邦に限られるとの見解を示しました。これをきっかけに需給逼迫懸念が再燃し原油は、買い戻されました。

●第4週、週末3/25のWTI原油は、先週比9.20ドル高の113.90ドルとなりました。カザフスタンとロシアをつなぐパイプライン経由の輸出が停止されたとの報とイエメンの親イラン武装組織フーシ派が、サウジアラビアの国営サウジアラムコの石油関連施設をドローンを使って攻撃したとの報を受け相場は上昇に転じました。

	3月平均	WTI原油	108.26ドル	前月比	16.63ドル	為替 1ドル	119.53円	前月差	3.31円
--	------	-------	----------	-----	---------	--------	---------	-----	-------

日付	補助金	変動幅	変動幅
3/1~3/2	5.0	+1.0	+1.0
3/3~3/9	5.0	+2.0	+2.0
3/10~3/16	17.7	+12.0	+12.0
3/17~3/23	25.0	+4.5	+4.5
3/24~3/30	18.6	-8.0	-8.0
3/31~3/31	25.0	+9.0	+9.0

【単位:円/KL】

メニュー価格推移 平水湾内T/S持ち届け (サイト60日)	0.5HPP		ENEOS LS船用燃料油基準価格	
	2021年10-12月C重油決定価格	70,020	72,020	70,020(メニュー)+2,000(プレミアム)
2022年1-3月C重油仮価格	72,190	74,190	72,190(メニュー)+2,000(プレミアム)	
2022年1-3月C重油決定価格	76,550	78,550	76,550(メニュー)+2,000(プレミアム)	
決定価格10-12月比	6,530			

【単位:円/KL】

内航燃料油価格推移	適合油価格	
	A重油	
2021年10-12月C重油決定価格	76,000	81,700
2022年1-3月C重油仮価格	79,400	
2022年1-3月C重油決定価格	84,300	94,400
決定価格10-12月比	8,300	12,700

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格	通関CIF	為替レート	原油CIF価格
			円/kl	ドル/bbl	円/ドル	前月比
	22/2	9桁速報	62,611	86.69	114.83	5,033
	22/3	最終予測	68,605	94.30	115.66	5,994
	22/4	展望	81,093	112.60	114.50	12,488
	22/5	展望	79,406	110.74	114.00	-1,687

【次世代エネルギー】<福岡市とトヨタが水素活用で連携協定>

トヨタ自動車と福岡市は2月7日商用車向けの「CASE」技術とサービスを企画するCommercial Japan Partnership Technologies(CJPT)と共同で、水素社会の早期実現に向けた相互の連携、幅広い取り組みの推進に合意したと発表しました。具体的な取り組みの第一歩として、福岡市への給食配送車やパッカー車(ゴミ収集車)に、燃料電池トラックと、移動式の発電、給電システム「Moving e」の導入を検討します。福岡市は、市民の生活排水(下水)から水素を製造、燃料電池自動車に供給する世界初の取り組みや、燃料電池技術を用いたトラック、バイクなどの実証実験に日本で初めて挑戦するなど、「水素リーダー都市プロジェクト」を進めてきました。

また、トヨタ自動車は、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの中で、水素を将来の有力なエネルギーと認識。燃料電池自動車「MIRAI」の販売、水素エンジン車の開発、CJPTとの連携による商用車の普及など、水素社会の実現を目指しています。このような中、トヨタ自動車と福岡市は、市民のライフスタイルの中で身近に感じ、持続可能で実践的な水素利用を広げることについて協議を重ねています。2021年11月に行われたスーパー耐久レースでは、水素エンジン車両のレース用燃料として、福岡市民の生活排水から製造された水素を供給、使用し、水素を通じた初めての連携を実施しました。そして今回、今後の社会インフラを担う車両の開発、実装や物流における水素社会モデルづくり、市民に身近な施設やイベントなどでの水素エネルギーの活用、水素社会の実現のために必要な規制と適正化の検討などについて双方で合意に至り、連携協定を締結することになりました。加えて、連携協定締結を契機に、トヨタ自動車と福岡市、CJPTは、水素を「つくる」「はこぶ」「つかう」という一連のサプライチェーンに関する技術開発や実証を検討します。早期の社会実装に繋げることで、市民が水素を身近に感じられる社会をいち早く構築するとともに、日本および、世界のカーボンニュートラル実現に貢献するために、積極的に取り組むとしています。

出典 ①<https://japan.cnet.com/article/35183193/> ②<https://www.sankei.com/article/20220207->

【4月価格変動要因】

●需要:上海のロックダウンの影響と原油高による需要減少が予想されます。上海のロックダウンは、短期的と言われており影響自体はそれほど大きくありませんが、その他の都市への波及等を考えると需要見通しは、弱気にならざるを得ない状況です。

●供給:ロシアによる原油・天然ガス供給削減の可能性が危惧されます。一方でインドや中国は、割安なロシア産原油の大量購入を表明しており経済制裁の影響はそこまで大きくないかも知れません。米国が戦略石油備蓄の大量放出(1億8千万バレル)を決定しました。半年かけて放出すると日量100万バレル相当の影響があり価格を短期的に押し下げる可能性があります。

●在庫:ドライブシーズンを前に原油在庫の積み上げと製品の製造を進めなければいけないにもかかわらず足元の在庫水準は過去5年で最低水準にあり在庫の増加の気配もありません。ただし戦略石油備蓄の放出が始まれば確実に在庫が増加するはずであり今後の動向に注意が必要です。

●リスク資産:3月のFOMCでは、0.25%の利上げが実施されました。次回5月のFOMCでは、0.5%利上げが予想されます。もともとの想定を上回るペースに市場がどの様に反応するか注目されます。利上げによって短期金利は、上昇していますが10年の金利は伸び悩んでおり逆イールドの発生から景気減速が示唆される可能性もあります。

【4月価格変動要因】

(単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	150	150
Average	100	98
Low	95	90

日付	国	4月経済指標カレンダー	日付	国	4月経済指標カレンダー
1	欧	3月消費者物価指数(HICP、速報値)	14	欧	ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見
1	米	3月非農業部門雇用者数変化	14	米	3月小売売上高
1	米	3月失業率	21	欧	3月消費者物価指数(HICP、改定値)
1	米	3月平均時給	26	米	新築住宅販売件数
1	米	3月ISM製造業景況指数	28	米	1-3月期 四半期実質国内総生産(GDP、速報値)
5	米	5月ISM非製造業景況指数	29	欧	4月消費者物価指数(HICP、速報値)
6	米	米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨	29	米	1-3月期 四半期域内総生産(GDP、速報値)
12	米	3月消費者物価指数(CPI)	29	米	3月個人消費支出(PCIデフレーター)
14	欧	欧州中央銀行(ECB)政策金利	29	米	1-3月期 四半期雇用コスト指数

当レポートは、情報提供のみを目的としておりますのでお取引の判断については、御自身で行って頂くようお願い致します。